



皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の池田です。

今月の集落支援だよりでは、島根県出身の私から見た西会津の文化や、町内の魅力的なスポットに関する思いを紹介します。



地域おこし協力隊 集落支援担当
池田 潤 隊員

町外出身者からみた西会津の文化

昨年5月下旬に初めて西会津の土を踏んでから、早いもので1年が過ぎました。私は島根県出雲地方出身で、それまで縁もゆかりも無かったこの西会津ですが、故郷出雲との共通点など、不思議に思うことがあります。

例えば、防火の神として西会津でも祀られている「秋葉さん」や「愛宕さん」ですが、

出雲でもその信仰がありました。私は学生時代、文化人類学・民俗学の観点から「たたら製鉄」に関係する信仰を専門に調査研究をしていたのですが、お世話になっていた出雲地方のとある元たたら製鉄集落（最盛期は日本の鉄生産の数%を担う）では、集落の裏山に祀られている秋葉さんや愛宕さんの祠に、集落内の全世帯が毎日交代で防火を願うお参りをしていました。

また、西会津で言うところの「歳の神」は、私の地元では「とんどさん」という名前



歳の神（雪国まつりより）

でしたが、そこで行われていることはほとんど同じであり、遠く離れた会津と出雲でも、似たような信仰が行われていると感じました。

また、新郷地区に「氷川神社」がありますが、旧名は「天王神社」だそうで、「天王」は須佐之男命の別名（牛頭天王）であることを考えると、おそらくこの神社は埼玉県の「氷川神社」の流れを汲むものと思われれます。そして、この埼玉の氷川神社は私のふるさと出雲（旧簸川郡斐川町）と関連があるとも言われています。町内の氷川神社の前を通る度に、西会津と出雲地方との不思議なつながりを感じています。

そしてなんとと言っても大山

祇神社ですが、私がかつて地域振興の仕事をしていた島根県隠岐諸島でも大山祇命の信仰があり、ここでは山や巨木自体が、神社のご神体となっていました。

隠岐の島はかつて北前船の「風待ち港」として栄えており、もしかしたら越後や海運を通して、ここ西会津の大山祇神社の信仰が隠岐の島にも伝わったのかもしれない。



大山祇神社

西会津でも見れる雲海

「西会津はいたる所で雲海を見る事ができる」ことや、「雲がきれいに見れる場所が多い」ということでした。

全国的に雲海で有名なスポットというと、兵庫県朝来市の竹田城や、広島県三次市が思い起こされますが、私も幕ノ内や長桜の「眺め桜」など町内のいくつもの場所で雲海を見ました。そしてそれらの場所で見られる景色は、三次市の雲海などにも負けないものがあります。



東屋と奥に広がる雲海（眺め桜）

昨年秋より、「町外出身者の目線で見ると魅力的な西会津のポイントを探す」という課題を役場から受け、町内のほぼ全ての道路を通行しました。その中で気付いたのが、

このように、西会津には町外出身者から見るとさまざまな魅力的なスポットがあります。皆さんも改めて「西会津の魅力探し」をされてみてはいかがでしょうか？